

文化庁の京都移転に伴う庁舎整備の工期延伸について

- 2017（平成29）年7月に国、京都府、京都市からなる「文化庁移転協議会」で、文化庁の本格移転時期を遅くとも2021（令和3）年度中を目指すと決定され、その後、同旨が第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込まれた。

2021年度中を目途とする文化庁の全面的な移転など、取組を着実に進めてきている。（第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2019年12月20日閣議決定））

- 文化庁が移転する庁舎については、整備主体である京都府において設計を進めているが、文化庁新庁舎と京都府庁舎との一体的な整備の実施など、大幅な設計変更が必要となっている。
- 京都府では、当初想定した18ヶ月の工期内での完成に向けて検討を進めてきたが、建設業の働き方改革等もあり、工期が当初の18ヶ月から26ヶ月となっており、竣工は2022（令和4）年8月下旬を目指したい。
- 文化庁の移転時期については、工事の発注状況等を考慮しつつ、改めて文化庁移転協議会で相談したい。

(参考)

□ 新行政棟・文化庁移転施設整備工事の概要

公 告 日 令和 2 年 2 月 14 日(調整中)

事業概要 新行政棟新築工事、警察本部本館改修工事

工事概要 新行政棟 鉄骨造(一部 SRC+RC 造) 地下 1 階 地上 6 階
建物 延床面積 9,280 m²

府警本部 RC 造 地下 1 階 地上 3 階
建物 延床面積 4,391 m²

工事期間 議会議決日の翌日から 2 6 ヶ月

完成イメージ

